

第121回 日本医史学会学術大会 プログラム集



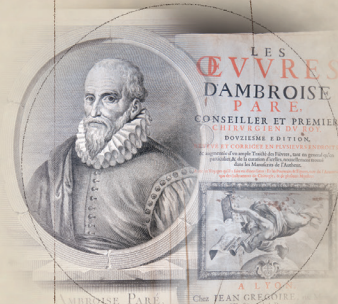
スクリバ文庫



長谷川 泰



野口 英世



LES ŒUVRES
D'AMBOISE PARÉ



解體新書 門脈篇圖



スクリバ文庫印・スクリバ自筆サイン

「済生救民と社会との共生」

会長：弦間 昭彦(日本医科大学学長)

実行委員長：志村 俊郎(日本医史学会理事)

<http://jsmh121.umin.jp/>

「済生救民と社会との共生」

会 期 2020年12/19(土)~12/28(月)

会 場 オンライン開催

会 長

弦間昭彦 日本医科大学 学長

実行委員長

志村俊郎 日本医史学会理事／元日本医科大学教授

実行委員

藤倉輝道 日本医科大学医学教育センター教授・副センター長（大会事務局長）
山本 鼎 元日本医科大学診療教授／日本医史学会会員
殿崎正明 元日本医科大学図書館事務室長／日本医史学会会員
足立好司 日本医科大学武蔵小杉病院脳神経外科 病院教授
石川 源 日本医科大学女性診療科・産科 講師／医学教育センター
阿曾亮子 日本医科大学医学教育センター助教
早坂明哲 日本医科大学医学教育センター助教
柳澤波香 日本医史学会理事／津田塾大学兼任講師
都倉武之 慶應義塾福澤研究センター准教授／日本医史学会会員
齊藤 均 都立広尾病院呼吸器科医長
安藤 勉 元日本医科大学准教授

顧 問

工藤翔二 日本医科大学名誉教授／公益財団法人結核予防会理事長
隈崎達夫 日本医科大学名誉教授／元日本医科大学常務理事
寺本 明 日本医科大学名誉教授／独立行政法人東京労災病院名誉院長
湘南医療大学副学長
竹下俊行 日本医科大学産婦人科学教室主任教授／
日本医科大学医学教育センター長

後 援

日本医科大学医学会、日本医科大学同窓会、日本医科大学医師会、東京都医師会、
文京区、公益財団法人野口英世記念会、慶應義塾福澤研究センター、
公益社団法人東京都鍼灸師会

第 121 回日本医史学会学術大会開催にあたって

この度、日本医科大学が、第 121 回日本医史学会学術大会を主催させていただくことになりましたことは大変光栄な事であり心より感謝申し上げます。本学は 1876 年に創立され、多くの医師を育て庶民の医療を支えるとともに、野口 英世をはじめとする多くの研究者を生んだ済生学舎を前身としており 140 年有余の歴史を刻んでおります。本学が、本大会のお世話をさせて頂くことは、初めてではありますが、その責任の重さを深く感じています。

さて日本医史学会の前身は明治 25 年に私立奨進医会が開催した先哲祭に遡ります。先哲祭はその後に医家先哲追薦会と名称を変えましたが、済生学舎の創立者 長谷川 泰はその主たる講演者として名を連ね、明治 44 年の第 20 回医家先哲追薦会では「先哲の日本文明に及ぼしたる効力」と題して特別講演を行っております。その意味においても日本医史学会は本学とは縁の深い学会であります。

本大会の基調テーマは、本学の源流である済生学舎の建学の精神から「済生救民と社会との共生」とし、本学の伝統である「病める庶民への社会貢献の歴史」を振り返ります。

理事長講演では、日本医史学会理事長 坂井 建雄 先生より「現代医学のルーツはどこにあるのか」をご講演頂きます。また市民公開講座では、ノンフィクション作家 柳田 邦男 先生より「心に生きる日野原重明 先生—30 年余の豊かな学び、そして未来—」と題しお話しいただきます。

シンポジウムの「医療史から済生救民を考える— 長谷川 泰をめぐる人々—」では、長谷川 泰の恩師、知友とのめぐりあわせなど各人に造詣の深い権威にご講演をいただきます。

このように伝統ある日本医史学会を、多くの文化人の暮らした千駄木の地の日本医科大学で開催できなかった事は大変残念ですが、日本医史学会では初となるオンライン開催にて、医学・医療史の発展に僅少ではありますが貢献したいと考えています。全国の医史学に興味を持っておられる医療職および文化人類史等に興味をお持ちの方、また広い分野からの多数のご参加を頂き、この第 121 回本大会が実り多い大会となりますよう、皆様方の温かいご支援とご鞭撻を心からお願い申し上げます。



第 121 回日本医史学会学術大会
大会長 弦間 昭彦
(日本医科大学)

第 121 回日本医史学会学術大会実行委員長挨拶

大会実行委員長 志村俊郎

現代の医療では、医療職が、多職種連携で行う時代ではありますが、昔から医療史も市民と医療職で共に育てて来た歴史と思います。本学会の基調テーマは、「済生救民と社会との共生」と致しましたが、済生救民は、貧しくしてその上病気で苦しんでいる人々を救うのが、医師の最も大切な道であるが、その志は、医療職全てに言えると思います。

シンポジウムの「医療史から済生救民を考える— 長谷川 泰をめぐる人々—」では、済生救民と庶民の医療との関わりの基調講演の後、長谷川 泰の恩師、知友との出会いから順天堂第 2 代目堂主 佐藤 尚中、内務省衛生局長 後藤 新平、世界的研究者の野口 英世と北里 柴三郎を取り上げ、その人となりを知ることにより、その偉人の歴史は近未来に通じる幾多の教えがある事を参加者の皆様と共有したいと思います。

日本医史学会では初めての、オンライン開催となりましたが、全ての医療職および文化人類史等幅広い分野からの、皆様方のご参加を賜りますようお願い申し上げます。

開催プログラム

会長講演

「多くの偉人を輩出した日本医科大学前身の済生学舎と本学関連史料」

座長 坂井 建雄（順天堂大学）

演者 弦間 昭彦（日本医科大学学長）

基調講演

「庶民の医療における済生救民と長谷川泰」

座長 西巻 明彦（北里大学東洋医学総合研究所 医史学研究部／日本歯科大学 医の博物館）

演者 志村 俊郎（第121回日本医史学会学術大会実行委員長／独立行政法人東京労災病院）

シンポジウム

「医療史から済生救民を考えるー長谷川泰をめぐる人々ー」

座長 川島 真人（社会医療法人玄真堂 川島整形外科病院）

座長 志村 俊郎（第121回日本医史学会学術大会実行委員長／独立行政法人東京労災病院）

1 順天堂第二代堂主佐藤尚中の生涯と事績

演者 澤井 直（順天堂大学医史学研究室）

2 長谷川 泰（たい）の内務省時代に泰に多大な影響を与えた

後藤新平について

演者 藤倉 輝道（日本医科大学医学教育センター 医学教育研究開発部門）

3 済生学舎と野口英世

演者 森田 鉄平（公益財団法人野口英世記念会）

4 長谷川泰と北里柴三郎との接点，特に伝染病研究所の設立において

演者 檀原 宏文（北里大学名誉教授／学校法人北里研究所北里柴三郎記念室客員研究員）

理事長講演

「現代医学のルーツはどこにあるのか」

座長 小曾戸 洋（武田科学振興財団杏雨書屋）

演者 坂井 建雄（順天堂大学）

特別講演

「華岡青洲の医学と思想に関して最近明らかになったこと」

座長 寺本 明（日本医科大学脳神経外科／湘南医療大学）

演者 松木 明知（弘前大学大学院医学研究科麻酔科学教室）

教育講演

I わが国におけるパラリンピックの父—中村 裕博士

座長 竹下 俊行（日本医科大学産婦人科学／女性生殖発達病態学）

演者 小林 晶（福岡整形外科病院）

II 国際医療協力における5つの壁を考える

座長 工藤 翔二（公益財団法人結核予防会）

演者 山本 保博（医療法人伯鳳会 東京曳舟病院／日本医科大学 名誉教授／救急振興財団会長）

市民公開講座

「心に生きる日野原重明先生—30年余の豊かな学び、そして未来—」

司会 弦間 昭彦（日本医科大学学長）

演者 柳田 邦男（ノンフィクション作家）

一般演題

看護

座長 平尾真智子 (健康科学大学)

1 奈良時代の『金光明最勝王經』の修法と香藥

演者 安部 郁子 (公益財団法人 研医会)

2 江戸時代の医療活動にみる看護

演者 山口 静子 (順天堂大学 医史学研究室)

3 戊辰戦争の記録にみる「看護」

演者 鈴木 紀子 (順天堂大学医学部医史学研究室)

4 私立日本医学校卒業生井口乗海の戦前の看護教育への貢献

演者 平尾真智子 (健康科学大学)

漢方 1

座長 平崎 能郎 (千葉大学大学院医学研究院和漢診療学講座／日本東洋医学会)

6 傷寒論条文で見られる「反」字の語法研究

演者 莊 明仁 (台湾 瑞聯中医クリニック)

7 薬・穴・脈からなる初学医書の比較検討—16世紀における医学伝授の書誌的考察—

演者 松木 宣嘉 (四国医療専門学校 鍼灸マッサージ・鍼灸学科)

8 村井琴山『方極刪定』に対する批判とその現代的意義—ICD-11「薬方の証」記述に向けて—

演者 星野 卓之, 小田口 浩, 花輪 壽彦 (北里大学 東洋医学総合研究所)

9 吉益東洞に対する批判の一考察

演者 西巻 明彦 (北里大学東洋医学総合研究所 医史学研究部／日本歯科大学 医の博物館)

ヨーロッパ医学史 I

座長 足立 好司 (日本医科大学武蔵小杉病院 脳神経外科)

10 あまり知られていないシーボルトの業績—音楽を中心に

演者 由比 文顕, 中山 茂春 (池友会福岡和白病院)

11 高良斎著『蘭法内用薬能識』とハルバウル選定 *Formulier* 及びその高野長英訳の比較

演者 相川 忠臣 (日本赤十字社 長崎原爆病院)

12 ゲーテと医療 (第5報)

—ヴィルヘルムマイスターの修業・遍歴時代に宿るゲーテの医師像—

演者 鈴木 重統 (北海道大学医師会／北海道大学医療技術短期大学部名誉教授)

13 ビルロート教授 (ウイーン大学) の医学的業績と彼の音楽サロン

—医学史・音楽史のコラボ—

演者 榎藤 寿昭 (ごんどう外科胃腸科クリニック)

江戸医療

座長 齊藤 均 (東京都立広尾病院)

14 江戸後期に存在した茶の効能を記す書『茶茗功能記』

演者 岩間眞知子 (静岡県 ふじのくに茶の都ミュージアム)

15 『彌性園方函』の日本医書引用についての研究

演者 三鬼 丈知 (大谷大学 非常勤講師)

16 江戸時代都市大坂の医師身分—療治証文の社会的意義について—

演者 海原 亮 (住友史料館)

長谷川泰とゆかりの人々

座長 殿崎 正明 (日本医科大学医史学研究会)

17 佐賀藩医相良柳庵・相良弘庵(知安)の系譜について

演者 相良 隆弘 (佐賀医学史研究会)

18 明治12年の「医師免許規則」施行前に東京府病院で実施された医術試験について

演者 樋口 輝雄 (日本歯科大学 新潟生命歯学部 医の博物館)

19 天津における宇良田唯子の足跡

演者 三崎 裕子 (埼玉県所沢市)

20 北里伝説の再検討―帝大3教授はコッホに「門前払い」されたのか―

演者 月澤美代子 (順天堂大学／M－医学史・科学史研究室)

21 日本の精神科医療史のなかの長谷川泰

演者 岡田 靖雄 (青柿舎 (精神科医療史資料室))

疾患の歴史

座長 園田 真也 (医療法人明星会 園田病院)

22 平安貴族社会にみる病気治療の諸相 2

演者 坂本 陽子 (順天堂大学大学院 医学研究科 博士課程)

23 網膜芽細胞腫：診断と治療の歴史 II

演者 柳澤 隆昭 (東京慈恵会医科大学 脳神経外科)

24 第二次世界大戦期の日本の結核問題

演者 渡部 幹夫 (順天堂大学 医療看護学部)

25 ペラグラ 第3報―シェアクロッピング制度とその影響―

演者 伊藤 泰広 (トヨタ記念病院 脳神経内科)

江戸時代医学

座長 土手健太郎 (愛媛県立中央病院 麻酔科)

26 整骨新書以前の骨学

演者 木村 明彦 1), 木村 直明 2)

(1) 解剖学史研究所, 2) 順天堂大学大学院医学研究科)

27 木版彩色『九蔵之圖』について

演者 島田 和幸 1,2), 内藤美智子 2)

(1) 東京医科大学 医学部 人体構造学教室, 2) 日本大学 医学部 機能形態学系 生体構造医学分野)

28 吉雄流外科 2 乳癌篇

演者 板野 俊文 (香川大学)

29 広田伝亮の「見聞録」と1820年代初期の春林軒における医療

演者 松木 明知 (弘前大学大学院 医学研究科 麻酔科学教室)

30 華岡流医師, 進藤寛策について—麻沸湯はクロロホルムよりも優れている—

演者 土手健太郎, 矢野 雅起, 藤谷 太郎, 高石 和 (愛媛県立中央病院 麻酔科)

人物 江戸・明治

座長 藏方 宏昌 (安方クリニック)

31 尼瀬の刃物名工 鳥井代五郎則安

演者 岩原 良晴 (株式会社大塚製薬工場 信頼性保証本部 輸液 DI センター)

32 後藤良山の系譜と一族の墓について

演者 今井 秀 (今井整形外科)

33 小浜藩藩医木下宗白の系譜と明治期以降の我が国産婦人科医学へのかかわり

演者 石川 源 (日本医科大学産婦人科)

医学書Ⅰ

座長 町 泉寿郎 (二松学舎大学 文学部 中国文学科)

34 大阪府立中之島図書館所蔵『鑑』と西忍『藪明集』の関係について

演者 鈴木 達彦 1,2,3), 平崎 能郎 3,4), 並木 隆雄 3)

(1) 帝京平成大学薬学部, 2) 北里大学東洋医学総合研究所医史学研究部,

3) 千葉大学大学院医学研究科和漢診療学, 4) 千葉大学医学部附属病院プレストセンター)

35 多紀元簡『櫃中鏡』について

演者 成 高雅 (京都大学 人間・環境学研究科 博士後期課程)

36 楂考書屋と黒川文庫—考証家の本を中心に—

演者 吉川 澄美 (東京都)

37 『医経千文』にみる芦東山の医学

演者 町 泉寿郎 (二松学舎大学 文学部 中国文学科)

台湾医事

座長 橋本 明 (愛知県立大学)

38 日本統治期における台湾人「助産婦」養成開始の人脈的背景

演者 阿部奈緒美 (奈良女子大学 アジア・ジェンダー文化学研究センター)

39 台湾における医療宣教師 (missionary doctors) の歴史

演者 福永 肇 (金城大学 社会福祉学部 社会福祉学科)

40 戦後台湾精神医療と龍發堂スキャンダル

演者 橋本 明 (愛知県立大学)

漢方2

座長 松岡 尚則 (高知中央クリニック)

41 福井崇蘭館旧蔵元明養生書について

演者 劉 青 (京都大学 人間・環境学研究科博士課程)

42 北山友松子の医学—『傷寒論』への注目—

演者 向 静静 (立命館大学文学研究科)

43 淡輪元潜と、その関連書物等について

演者 池内早紀子 (大阪府立大学大学院 人間システム科学研究科)

44 『博濟病院塾則』について

演者 永塚 憲治 (公益財団法人研医会)

医学書Ⅱ

座長 真柳 誠 (茨城大学名誉教授／東亜医学協会)

45 北京大學藏西漢竹書『蒼頡篇』の病名について

演者 猪飼 祥夫 (北里大学 東洋医学総合研究所 医史学研究部)

46 森立之の自筆稿本『本草経攷注』について

演者 郭 秀梅 (順天堂大学医学部医史学研究室)

47 近代中国における基礎医学用語の変容について

演者 松本 秀士 (東京大学 教養学部／立教大学 文学部)

48 大谷大学所蔵のヘルンレ文庫について

演者 島山奈緒子 1), 三鬼 丈知 2), 猪飼 祥夫 3), 多田 伊織 4)

(1) 関西医療大学, 2) 大谷大学, 3) 北里大学, 4) 大阪府立大学)

戦後医療

座長 加藤 茂孝 (保健科学研究所)

49 国民優生法による第二次大戦前後 (1941～47年) の優生手術・不妊手術件数の定量分析

演者 逢見 憲一 (国立保健医療科学院 生涯健康研究部)

50 戦後日本の衛生教育に関する研究—楠本正康『衛生教育概論』の検討—

演者 田中 誠二 1), 杉田 聡 2), 丸井 英二 3)

(1) 新潟大学 人文社会科学系, 2) 大分大学 医学部, 3) 人間総合科学大学)

51 岩手県沢内村の挑戦：世界のミラクルはなぜ他地域に普及しなかったのか？

演者 中村 安秀 (甲南女子大学 看護リハビリテーション学部)

52 日本におけるハンセン病患者の隔離政策はなぜ長かったのか？

演者 加藤 茂孝 (保健科学研究所 学術顧問)

長谷川泰とその時代

座長 稲松 孝思 (東京都健康長寿医療センター)

座長 志村 俊郎 (第121回日本医史学会学術大会実行委員長／独立行政法人東京労災病院)

53 我が国薬事制度と永松東海

演者 青木 歳幸 (佐賀大学地域学歴史文化研究センター)

54 東京市本郷区域における女子歯科医学校の設立

演者 永藤 欣久 (東洋学園大学 東洋学園史料室)

55 東京帝国大学医師スクリバの学外医療活動濃尾大地震における日本ドイツ協会の報告

演者 高橋日出雄 (医療法人社団成風会 高橋クリニック)

56 明治初期の山口県における医術開業試験の実施について

演者 中澤 淳 1), 亀田 一邦 2)(1) 山口大学, 2) 九州国際大学)

57 近藤次繁はなぜ野口英世の手術を行えたのか？手術手技習得と日本形成外科の始まり

演者 成島 三長 (三重大学大学院医学系研究科 生命医科学専攻 臨床医学系講座 形成外科学)

58 病院における医学史展示―「養育院・渋沢記念コーナー」の試み

演者 稲松 孝思 (東京都健康長寿医療センター)

近代日本医療

座長 渡部 幹夫 (順天堂大学 医療看護学部)

59 明治33年北清事変における本邦病院船事情

演者 柳川 鍊平 (防衛医科大学校病院 総合臨床部)

60 近代日本における医師と活動写真：日本医学映画研究会および実験治療社に注目して

演者 藤本 大士 (大阪市立大学大学院 文学研究科 都市文化研究センター)

61 GHQ/SCAP/PHW 文書の記録用覚書のセクション名の分析による

PHW の活動の変遷の考察

演者 杉田 聡 1), 田中 誠二 2), 丸井 英二 3)

(1) 大分大学 医学部, 2) 新潟大学 人文社会・教育科学系, 3) 人間総合大学 人間科学部)

62 旧庄内藩士末裔の三医師

演者 黒羽根洋司 (鶴岡地区 医師会)

医療システム

座長 月澤美代子 (順天堂大学／M－医学史・科学史研究室)

63 古記録にみる明治期の医療観と医療行動—小寺家文書と信玄病院帳簿をてがかりに—

演者 黒野 伸子 1), 大友 達也 2)

(1) 岡崎女子短期大学 現代ビジネス学科, 2) 就実短期大学 生活実践科学科)

64 熊本藩の医学教育と幕府医官

演者 松崎 範子 (熊本大学医学部同窓会 熊杏会)

65 明治期の売薬「喘息煙草」と薬局方の歴史を通して見た日本の近代薬事行政における大麻の位置づけ

演者 小清水敏昌 1), 宮路 天平 2), 津谷喜一郎 3)

(1) 順天堂大学医学部医史学研究室, 2) 東京大学大学院臨床試験データ管理学,

3) 東京有明医療大学医療保健学部)

鍼灸

座長 長野 仁 (森ノ宮医療大学 保健医療学研究科)

66 中国における奇穴の伝承

演者 木場由衣登 (日本鍼灸研究会)

67 中神琴溪の鍼灸

演者 鶴田 泰平 (日本鍼灸研究会)

68 鍼灸治療について

演者 清野 充典 (順天堂大学医学部医史学研究室)

69 六部定位脈診の名称と形成過程について

演者 中川 俊之 (日本鍼灸研究会)

ヨーロッパ医学史 II

座長 伊藤 泰広 (トヨタ記念病院 脳神経内科)

70 1928年東京開催の瑞西バーゼル大学耳鼻科ジーベルマン教授追悼会参加の三人のスイス人

演者 高橋 薫 1), 高橋日出雄 2) (1) タカハシクリニック, 2) 高橋クリニック)

71 『コペンハーゲンの医学・哲学紀要』に掲載された解剖所見

演者 安西なつめ (日本大学)

72 医学学習指南書と医学書誌目録の類似性と相違性—リンデンの『医学の手引』—

演者 澤井 直 (順天堂大学 医史学研究室)

ヨーロッパ医学史Ⅲ

座長 柳澤 波香 (青山学院大学／津田塾大学)

73 Lorenz Böhler の外傷外科医としての生涯

演者 大幸 俊三 (春日部市立医療センター 整形外科／竹の塚脳神経リハビリテーション病院)

74 英国心臓疾患病院の設立とその軌跡

演者 柳澤 波香 (青山学院大学／津田塾大学)

誌上発表

75 朝鮮の外科手術の先駆者である白光炫について

演者 吉村 美香 (愛知淑徳大学 交流文化学部)

76 西鶴作品にみる身体に関する語 (八)

演者 計良 吉則 (赤城少年院 医務課診療所)

77 群馬県における明治前期のコレラ流行と対応—群馬県医学校山崎泰輔校長の日記から—

演者 須長 泰一 (伊勢崎市)

78 『万病回春』の初版本

演者 小曾戸 洋 (武田科学振興財団杏雨書屋)

79 The Systematic Classic of Acupuncture/Moxibustion (英訳『鍼灸甲乙経』)について

演者 宮川 隆弘 (日本鍼灸研究会)

80 (東寺) 済世病院における従事医師の推移と診療 (運営) 方針の変遷

演者 八木 高秀 (東雲診療所仏教医学研究室)

81 幕末期尾張藩における洋学普及への伊藤圭介の苦悩と貢献

演者 山内 一信 (東員病院・認知症疾患医療センター)

82 石川元混撰『灸穴図解』に見る漢蘭折衷

演者 加畑 聡子, 星野 卓之, 小田口 浩, 花輪 壽彦 (北里大学東洋医学総合研究所)

83 彌性園会計簿 (明治三十五年) にみる開業医の生活

演者 田中 祐尾 (大阪市立大学医学部)



チロシンキナーゼ阻害剤／抗線維化剤

【前薬】処方箋医薬品 注意・医師等の処方箋により使用すること

薬価基準収載

オフエブ® 100mg
カプセル150mg

ニンテダニブエタンスルホン酸塩製剤 OFEV® Capsules 100mg・150mg

「効能・効果」「用法・用量」「警告・禁忌を含む使用上の注意」
「用法・用量に関連する使用上の注意」につきましては製品添
付文書をご参照ください。

製造販売

日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社

〒141-6017 東京都品川区大崎 2 丁目 1 番 1 号

資料請求先：DI センター

2015年12月作成



がんではない。
ひとりを見つめるのだ。

すべての革新は患者さんのために



中外製薬



ロシュ グループ



私たちは人びとの健康を高め
満ち足りた笑顔あふれる
社会づくりに貢献します。



<https://www.taiho.co.jp>



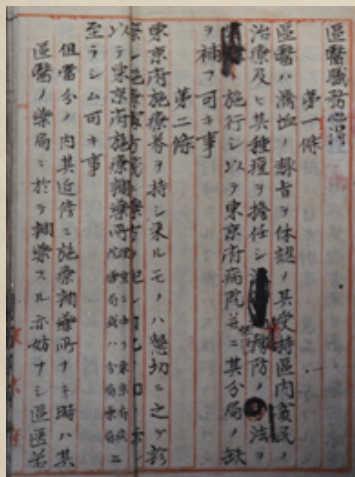
患者さん自らが持つ免疫力を、
 がん治療に大きく生かすことはできないだろうか——。
 小野薬品とブリストル・マイヤーズ スクイブは、
 従来のがん治療とは異なる
 「新たながん免疫療法」の研究・開発に取り組んでいます。



東京府病院長としての長谷川泰濟恤(さいじゅつ)(あわれみ)の心

生活困窮者のために奔走した長谷川泰

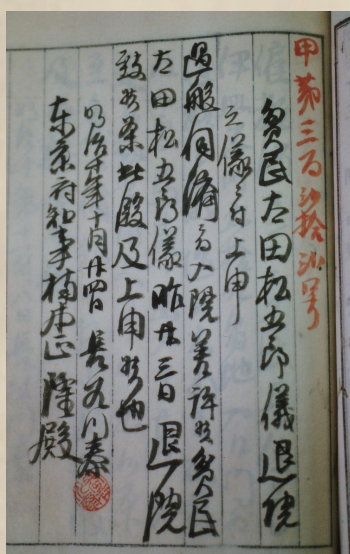
区医職務心得



長谷川泰は「患者に対し濟恤(さいじゅつ)の心を持って診察して下さい」と書き残している。

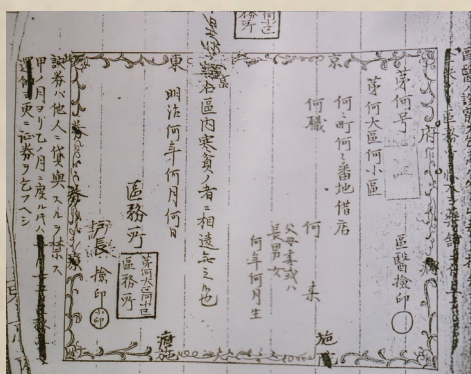
(東京都公文書館蔵)

医療支援嘆願書



「貧しい人々を無料で入院させてほしい」という願い書を年に120通以上東京府知事に書いている。

無料診察券(明治10年10月)



長谷川泰が書いた「無料診察券」の原案

(東京都公文書館蔵)

協賛一覧（50 音順）

小野薬品工業株式会社

社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス海老名総合病院

大鵬薬品工業株式会社

中外製薬株式会社

株式会社ツムラ

日本医科大学同窓会

日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社

ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社

【大会事務局】

日本医科大学医学教育センター内

事務担当：山口

〒113-8602 東京都文京区千駄木 1-1-5

TEL：03-3822-2131（代表）

【運営事務局】

株式会社コンベンションアカデミア内

〒113-0033 東京都文京区本郷 3-35-3 本郷 UC ビル 5F

E-mail:jsmh121@coac.co.jp

第121回
日本医史学会学術大会
プログラム集